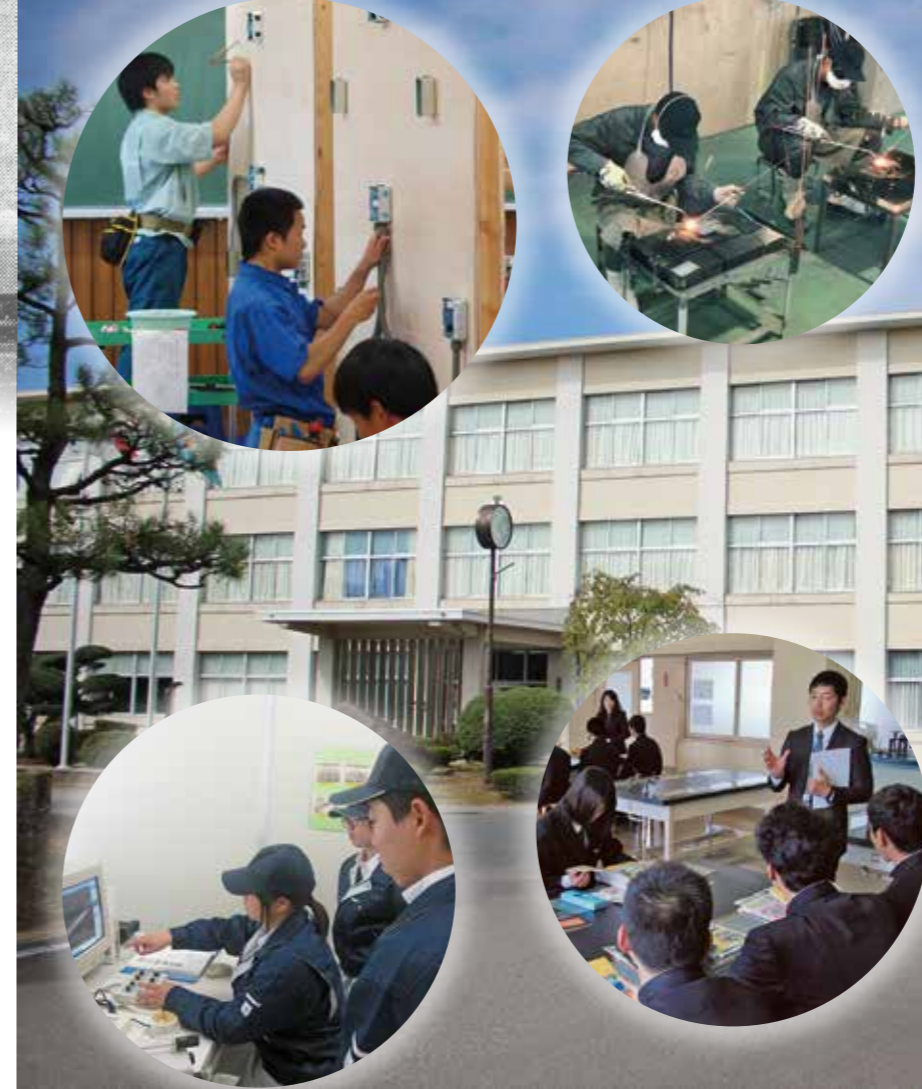


ものづくりを通じた、
ひとつづくりと地域貢献

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8016

石川県立小松工業高等学校



創業者精神を継承する
コマツの寄付で建設

令和元年に創立80周年を迎える小松工業高校。長い歴史を振り返れば、地元の工業教育(ひとつづくり)に対し、小松製作所が貢献してきた恩恵の大きさを改めて感じることが出来ます。

小松製作所の創業者である竹内明太郎氏は「工業は国を富ませる基なり、人材育成こそが工業富国基の基本」を理念に、全国各地の工業教育に邁進したことも有名です。

昭和13年、石川県議会では県立工業学校(高校)の新設に向け、設置場所を巡る議論が起こります。地域振興に関わる誘致合戦は、加賀(小松市)と能登(七尾市)に二分されて激しい対立が続きました。

県内全域の振興に配慮した議論は、やがて「発展策を兼ねて能登に設置」の意見が大勢を占め、結論は七尾市で決まるかのように思われました。

ところが、七尾市に決まる矢先、小松製作所が学校建設費21万5千円(現在の価値で13億55億円とも)の全額寄付を申し出たことで、形勢は一気に逆転します。この英断により、ついに建設地は小松市に決まり、昭和14年には念願の小松工業学校が開校されました。

改称改編の変遷と
研鑽された工業教育

創立後の小松工業学校は、学制課程の合併分離により、小松実業高校・小松高校の改編を経て、昭和40年には現在の小松工業高校に至ります。

小松工業高校では、竹内氏の理念と「質実剛健・自重自治」の校訓の下、現在は4学科(機械科、電気科、建設科、材料化学科)において、様々な資格取得を奨励し、地域の産業発展に貢献できる人材の育成に努めています。

◀創立80周年記念式典(10月19日開催)



竹内氏を「学祖」として称える我が校の卒業生は18,000人を超えています!

小松実業高校時代の昭和39年には夏の甲子園に初出場しています。



小松工業高校同窓会 創立80周年記念誌委員 林 國夫さん

竹内明太郎氏の銅像▶ (遊泉寺銅山跡記念公園)

桜木町(現小松市武道館)にあった小松工業学校の校舎(昭和15年)

TOPICS 地域貢献で大人気! 観客を盛り上げるマーチングバンド



地域との交流を中心に、校外外で年間40回以上のマーチング・演奏活動を行っている吹奏楽部。足を高く上げる「カレッジスタイル・マーチングバンド」は全国でも珍しく、圧巻のパフォーマンスと演奏に定評があります。様々な全国大会にも毎年出場しています。



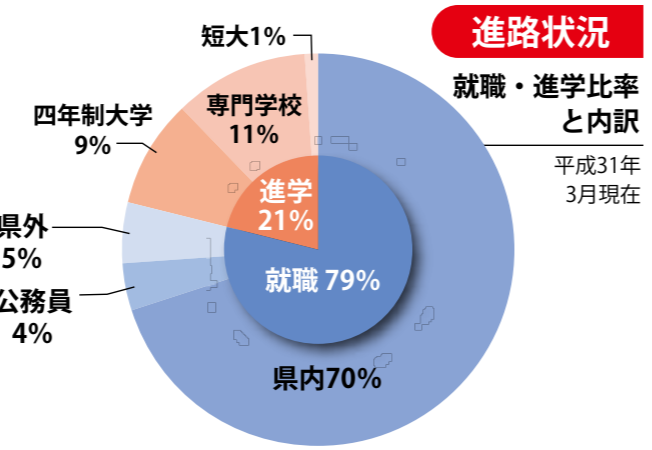
部員34人で頑張っています。皆さんからの声援と拍手は演奏の励みになります。

吹奏楽部 部長 3年 清水 洗旗さん

▲他校生徒との交流練習も。

TOPICS 就職・進学に強い進路指導 地元就職なら圧倒的に優位

将来の夢や適性を踏まえた進路指導を実施しています。



主な取得資格 第3種電気主任技術者、第1種電気工事士、危険物取扱主任者(乙種全類)、2級技能検定(普通旋盤作業)

主な就職先 コマツ、小松ウオール工業、小松マテール、コマニー、ジェイ・バス、北陸電力、村田製作所など



文武両道 小松工業高校の活躍

■旋盤作業で高校日本一

第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会(2017年開催)の旋盤作業部門で、機械科3年(当時)の土山稜人さんが優勝しました。同部門での日本一は県勢で小松工業高校のみ。優勝は2012年に達成して以来2度目です。

▲優勝した土山稜人さん(前列中央)



■ウエイトリフティングインターハイ2018優勝

平成30年度インターハイのウエイトリフティング競技大会で、電気科3年(当時)の中本唯人さんが53kg級で優勝しました。

提供: 日本ウエイトリフティング協会

▲第73回国体2018(福井県)にも出場、団体2位に入賞。



そのほかのインターハイ出場競技

陸上競技(女子、槍投げ)、ハンドボール男子団体、弓道男子個人、ウエイトリフティング男子個人77kg級、ボウリング男子個人、少林寺拳法(男子団体演武、男子組演武、男子単独演武、女子組演武)